

大学連合・産業活性化
動機構は、10月12日(火)
13~17時に「半導体・デ
ジタル産業を考える講演
会」を開催する。会費は
2000円(学生100
0円)。会場は、ふくお
かIST三次元半導体研
究センター(福岡県糸島
市東1963-4)。特
別講演には、ノーベル物
理学賞受賞の名古屋大学
教授、天野浩氏が登壇す
る。申し込みURLは、<http://u-dtine.org>。

この講演会は、20年後
を見据えた九州シリコン
アイランドの活性化を旨
指して開催されるもの
である。記念すべき第1回
のプログラムは、非常に
注目される。

基調講演としては、
「半導体・デジタル産業
の世界動向を踏まえて、
日本の現状の課題と展
望」と題し、電子デバイ
ス産業新聞の特別編集委
員であり、同紙を発行す
る産業タイムズ社の代表
取締役会長である泉谷渉
が登壇する。半導体業界
最古参の記者であり、常
にアクティブな発言で知
られる泉谷は、今回もサ
プライズの講演内容を用
意している。

特別講演としては、青

色LEDの開発でノーベ
ル物理学賞を受賞した名
古屋大学教授の天野浩氏
が意欲的なテーマ「シリ
コンと相補的なワイドギ
ャップ化合物半導体の将
来戦略をスピーチする。
さらに記念講演とし
て、長岡技術科学大学准
教授の會田英雄氏による
「超難加工材料と化合物
半導体の高効率超精密加
工への挑戦」、ソニーセ
ンアップされている。
近年は、AIやIoT、
自動運転、量子コンピュ
ーターなどをキーワード
として、多種多様な電子
デバイス・材料が次々と
登場している。45年に想
定されているシンギュラ
リティーを考えれば、人
工頭脳を超越するかもし
れない次世代型高性能3
次元構造デバイスが必要
になってくる。多岐にわ
たる機能性材料の導入が
必要であり、加工プロセ
スにおいては、超精密加
工仕上げ、超薄片化、異
種材料貼り合わせ・積層
化が3大技術として挙げ
られる。

九州活性化を目指す半導体講演会

糸島で10月12日開催

ノーベル賞の天野氏登場

大学連合・産業活性化
動機構は、九州の大学研
究者や研究室の有志によ
る連合体を組織して、産
業の活性化の駆動源とな
るストラテジーを確立
し、日本および九州を元
気にするために作られた
組織である。前記の3次
元構造デバイスの開発に
も注力する一方で、人材
育成についても積極的に
取り組む姿勢だ。

この大学連合・産業活
性駆動機構の代表者は土
肥俊郎氏であり、半導体
CMP技術の世界的権威
といわれている。